

ユーザーレポート ～0の証明～

# USER REPORT

モラル高く行動することが、信頼の条件となる時代。  
ALC-ZERO IIで飲酒運転撲滅のリーダーを目指す。

神奈川柑橘果工株式会社

## 神奈川柑橘果工株式会社

神奈川柑橘果工株式会社は、有名な大手飲料メーカーを得意先に持ち、主に清涼飲料水を生産している。工場は24時間稼働のため、どの時間帯、どの曜日でも飲酒運転できない仕組みを検討し、普通乗用車をはじめとする自社車両にALC-ZERO IIを装着した。

## 飲酒運転の根本的な防止策として

菊地氏：当社は、大手飲料メーカーから依頼を受け、お茶、炭酸、果汁、コーヒー等の清涼飲料水、リキュール等のお酒をOEM生産しています。

原材料や製品の輸送を担うのは、飲料メーカーが運営するロジスティクス部門のトラックですが、だからといって当社に輸送の責任が無いわけではありません。当社から出発したトラックが飲酒運転事故を起こせば、やはり社会的責任が問われます。社会的責任の意識を高め、得意先の信用を得るには、私たち自身が飲酒運転防止に真剣に取り組む必要があります。飲料メーカーの中には清涼飲料水と共にビールを販売している会社があり、私たちが飲酒運転することはそもそも許されません。もし問題を起こせば受注が途絶え、会社の信用と社員の生活に大きな影響を及ぼすでしょう。そこで、飲酒を未然に防ぐ効果的な仕組みを見つけるべく検討を重ね、最終的に選択したのが東海電子のALC-ZERO IIでした。飲んだら完全に車が動かない-シンプルで確実な仕組みのALC-ZERO IIで根本的解決を図ろうと考えたわけです。

## 24時間稼働の工場には ALC-ZERO IIが最適

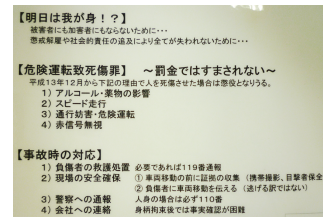
菊地氏：ALC-ZERO IIは、軽自動車や中型トラック、普通自動車など5台の自社車両に装着しています。近隣の倉庫や町役場をはじめとする官公庁への出入りに使うことが多いので長距離・長時間の運転はありませんが、それでも従業員の飲酒運転防止の意識付けには有効です。また、ALC-ZERO IIにはカメラが標準装備されているので、他人にマウスピースを吹かせるなりすまし運転を防ぐこともできます。



当初は、総務課のカウンターに据置き型のアルコールチェッカーを置いて検査し、車両のキーを貸出すという案もありました。しかし、当社の生産工場は24時間稼働しているため、総務課の職員がいない時間帯があります。総務が管理できない空白の時間に何かあった時のことを考えると、どの時間帯、どの曜日でも対応できるALC-ZERO IIが最良と言えます。

私たち製造現場のセキュリティやモラル管理に対する飲料メーカーの要求は年々厳しくなっています。メーカーの監査も以前は品質チェックが主でしたが昨今は企業の社会的責任まで問われます。

ALC-ZERO II導入を機に、今後当社の社内規定の見直しも考えられるかもしれません。



ALC-ZERO IIは視覚的なインパクトが大きいこともあり、仕事で訪れる町役場の人から機能について質問されたり、飲酒運転防止の姿勢に感心されたりすることがあるという。

ALC-ZERO IIは同社の企業イメージ向上にも役立っている。

ご利用機器 アルコールインターロック装置  
ALC-ZERO II

## 取材ご協力

神奈川柑橘果工株式会社

総務部 総務課 菊地 実様

〒258-0112  
神奈川県足柄上郡山北町岸716番地  
TEL 0465-75-2811(代)  
FAX 0465-76-3300  
URL <http://www.shinkako.co.jp/>

